

TOP > 東京都 > 渋谷区 > 広尾駅 > 広尾整形外科 > 小関博久 理事長

小関博久 理事長の独自取材記事

広尾整形外科
(渋谷区/広尾駅)

31 最終更新日: 2021/10/12

Doctors File

ドクターズ・ファイル

vol.5990

小関博久 理事長

広尾整形外科(渋谷区/広尾)



高級住宅地として知られる広尾。だがそれはこの町のほんの一面に過ぎない。都営住宅や昔ながらの商店街もあれば、外国人も多く行き交う、多様性に富んだ場所だ。そんな町に魅せられ、小関博久理事長が2005年に開業したのが「広尾整形外科」。広尾駅より徒歩2分の利便性のよい地にある。診療の中心は理学療法。筋力をつけ、可動域を広げる一般的な理学療法の考え方とは違い、症状の原因まで踏み込んでいく。これは小関理事長自身が運営する東都リハビリテーション学院で教えている方法論であり、同学院の卒業生が理学療法士(PT)として多数在籍し治療にあたっている。診療をはじめ、専門学校運営に著作の執筆にメディアへのコメントにと大忙しの小関理事長だが、合間をぬって医院の特色や学校への思い、今後の夢などについて話を伺った。

(取材日2014年10月9日)

目次

- 理学療法士の確かな目で、運動器不調の真の原因を追究
- テレビなどメディアでも活躍、後進の育成のため学校経営も
- 夢は独自の理学療法メソッドをさらに進化させること

理学療法士の確かな目で、運動器不調の真の原因を追究

■ なぜ広尾に開業されたのですか。

もともと私の出身は代官山なんです。今でこそ良いところと言われますが、私が子どもの頃の代官山は自然が多く、田舎も田舎。その後、大学病院勤務時代に広尾に住みまして、すっかり魅せられてしまいました。古くからある商店街の人たち、昔から住んでいる人もいれば、少し足を延ばすと白金で、芸能人などいわゆるセレブと呼ばれる方もいらしたり、また別の方へ行くと大使館があって、アメリカなど海外から来たビジネスマンも多い。その一方で、都営住宅もありいろ

いろな人が暮らしています。人間的に深く、おもしろい町だと思いました。それで気に入って、2005年にこの地に開業したのです。大学病院時代には過疎の町にも派遣されて行きましたが、過疎の町村ではみんな同じ考えをしないと疎外されるから、いつの間にか同じような考えになったりしがちです。しかし、ここ広尾はほんとうにいろいろな人に会える。それがこの町の魅力でしょうね。町の姿を反映してか、当院にもいろいろな職業、年齢の患者さんがおみえになります。外国人の患者さんも多いので、待合室に英字新聞を置いたりなどの配慮をしています。



┃ こちらの医院の特色を教えてください。

当院では運動器の痛み全般に対応しています。関節痛とかスポーツによるケガ、骨折、脱臼、捻挫、肩・首・腰・手足の痛み、皆さんの主訴はそういったものが多いです。院内は1階が診療室や待合室、レントゲン室で、2階はリハビリテーションの場所で230平方メートルあります。3階がスタッフルーム。治療は理学療法士による運動療法がメインです。われわれがやっている方法は今までの一般的な理学療法の考え方とは違います。従来のリハビリは可動域を広げるとか筋力をつけることを目的としていますが、私どもの場合はより踏み込んでいきます。例えば、ある患者さんが手や肩が上がらないと来られたことがありました。いろいろな大学病院へ行って検査したけれど原因がわからなかったそうです。診ましたら、2週間ぐらい前に足を捻挫して、痛いのをかばって足を引きずって歩いていたと言うのです。それが原因で体全体が傾いて、自ずと肩甲骨も傾き、手が上がらなくなっていた。つまり、問題は肩関節じゃなく足のほうにあったんですね。そこでリハビリによって歩き方を治したら即座に手や肩の不具合も治ってしまいました。そういうことは当院独自の理学療法による治療効果だと考えています。どこにひずみがあるのか、負担がかかっているかという判断は、機材も使いますがほとんどPT(理学療法士)の目による動作分析で、これは高い技術が必要とされます。

┃ 理学療法士に、元Jリーガーの方もいらっしゃるのか。



はい。引退後、療法士の資格を取得しまして当院で治療にあたっています。当院には2014年10月現在で23人の理学療法士が在籍しており、中には私どもの息子夫婦もおります。スポーツによる故障の他にも、慢性的な腰痛や関節痛、リウマチや脳梗塞、パーキンソン病のリハビリもすべて彼らが担当します。夜、診療が終わった後も皆熱心に勉強し、技術の練習や研究に取り組んでいます。技術も練習を積まないと身に付かないものなので、遅くまでみんな頑張ってますよ。研究

用のデータを取って学会発表もさかんに行っています。発表といっても、何々病の研究というたぐ

いのものではなく、先ほども言いましたように「動き」そのものに着目します。ある動きが通常どおりで、「代償運動」とよばれる、いわゆる「かばう動き」が起こって、別の症状になっていくのですが、左右ある腕や脚の本来悪かった方に症状が出ることもあればその逆もあり、人それぞれに症状が異なります。一概に決めつけられないところが理学療法の難しいところといえるでしょう。

テレビなどメディアでも活躍、後進の育成のため学校経営も

！こちらの患者層について教えてください。



小さい子どもから高齢の方まで幅広くいらっしゃいますよ。時間帯では朝は、ご高齢の方が多いし、昼ぐらいから昼過ぎになりますと主婦の方。そして夕方になり5時を過ぎると、最初のうちは幼児学童、その後、部活が終わった中学生高校生、それからケガをした大学生とか、スポーツやっていて痛めている社会人の方、というふうにな夜7時ぎりぎりになると社会人の方が増えます。時間帯でずいぶん違います。ご近所の方ですと、だいたいバスを使って来られますが、地元の

方ばかりではなく、電車を使って遠くから来られる方もたくさんおられます。幸い縁あって駅の近くに開院することができましたが、ただ広尾駅にはエレベーターがないんですね。地下鉄を降りて地上に出るまでには結構な階段を上らなければなりません。脚が痛い人があの階段を上っていくのは大変なので、エレベーターをつけてもらえるといいのですが……。

！肩こりに関して、テレビで取材を受けられていましたね。

テレビでは肩こりとは何かということから、どう治療するか予防するかということまでお話ししたのですが、まあ肩こりを語り出すとキリがないです。肩こりって病名じゃないんですよ、症状のひとつ。たかが肩こりと思っていると、くも膜下出血や心筋梗塞など、危険な病気の前駆症状として出ている場合もあるので注意が必要です。原因の多くは首の骨の並び方の異常が起こすもので、それを治そうというのが当院での治療法です。けれども他にも、肩関節自体に問題があって肩こりが起こっている場合もあります。ケースバイケースなのでひとくくりに説明できないのが肩こりなんです。

！東都リハビリテーション学院の理事長もされていらっしゃいますね。

東都リハビリテーション学院は、目黒区大橋にある理学療法士を養成する専門学校です。地域医療に貢献するとともに、理学療法の実践の場として開設されました。私は理学療法の方法論をうんと進化させていくと、もっと治療効率を上げることができると考えており、この学院でそのベースをつくりたいと思っています。当院では学校からの臨床実習生も受け入れておりまして、今ちょうど4期目の生徒たちが来ています。医院は日曜祝日が休みですが、私は日曜日にも入学試験や面接など学校の仕事があるので忙しくしていますね。



夢は独自の理学療法メソッドをさらに進化させること

！ 医師をめざされたきっかけ、これまでの経歴についてお聞かせください。



小さい頃は人に貢献したいという思いが特にあったわけではなく、野球だスポーツだ楽器だと、興味のままに多方面に活動していた普通の子供でした。勉強はまったくやりませんでしたね。ところが高校生の時、母親ががんを患い亡くなってしまったんです。手術を受けて治ると思っていたのに、結局転移してしまい苦しみながら亡くなったのを見たので、自分が医師になって母親の仇を取ろうと思ったのがきっかけです。それから一心に集中して勉強し、金沢医科大学へ進学

しました。卒業後は東京へ戻り、日本医科大学附属病院の救急救命センターでの研修を経てから、昭和大学の整形外科に勤務しました。その在職中に、現在の東都リハビリテーション学院の前身となる小関学院の理事長に就任。2005年に当院を開業しました。

！ 休日のリフレッシュ方、熱中している趣味などありますか？

大学時代は部活でジャズばかりやっていました。プロの演奏者から転身して医師を志す人と何人が大学で知り合いまして、それをきっかけに自分でジャズ研究会をつくったんです。ジャズは今も好きで、聴いたり演奏したりして楽しんでいます。健康のためにスポーツクラブへ行って泳いだりもしますが、管楽器を吹くのも呼吸器のトレーニングというか鍛錬になりますよね。ブルーノート東京とか、コットンクラブへ聴きに行ったりもします。ジャズなら何でも好きで、モダン、バップ、コンテンポラリーと幅広く聴くので、パーカーもマイルスもコルトレーンも好きです。最近の人ではジョシュア・レッドマンなんかも大好きでよく聴いています。

最後に、今後の展望についてお聞かせください。

今やっていることをどんどん進めていくことです。理学療法の技術をもっと進化させていきたい、それが夢です。そのためには学校を大学化していきたいなとは思っています。何年ぐらいかかるかはまだわかりませんが、普段から学校みんなは研究にいそしんでおりますし、博士課程に行っている講師陣もいっぱいいます。論文もたくさん書いていますから、ソフトはばっちり、めざすべき路線もはっきりしています。ですから大学の新設の機が熟すまで、今後とも着実に実績を積み上げてまいります。



記事をシェアする



近隣の医療機関



広域医療法人明和会 整形外科 スポーツ・栄養クリニック 代官山

(東京都/渋谷区)

整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、内科、ペイ...



六本木北浜診

(東京都/港区)

内科、リウマ...



医療法人社団 Xanadu あやこいとうクリニック

(東京都/渋谷区)

形成外科、美容外科、整形外科、皮膚科



医療法人財団

(東京都/港区)

内科、整形外...

悩みに寄り添うアプローチ